

正印
正印
正印

段山金鑑
通門集
濟

明治三十七年六月廿七日接受

公信第五二號

堀場警部復命書提出ノ件

ハ七九。

東

カニ印

署ヲニ露兵通過地方農況及ニ民情視察ノタメ
派遣シタル当館附警部堀場立太郎ヲ別冊
通リ復命致候ニ付参考迄及提出致候矣
明治三十七年六月十六日

在平壤分館主任

副領事 齋庄順自

外務大臣男爵小村壽太郎殿

本外公館(平壤)

三陸戦況
本報執筆
三陸

視察復命書

小官去ル五月廿二日平安道中軍隊通過地民
情並ニ露兵襲来ニ関スル民情等視察ノ余ヲ奉
シ翌廿三日當館出發順安ニ投宿廿四日肅川廿
五日安州廿六日安州地内徳成里廿七日份川三
日廿八日尚同所ニ滞在廿九日徳川地内三入り三十日
徳川ヲ経テ順川地檢洞三十日同地内ムルミッデー
六月一日殷山郡内龍化坊英人金鑛ニ到リ二日順
川及ニ殷山郡三日慈山郡經過平壤地内馬
山洞ニ投宿翌四日帰館セリ其間余ニ依リ調
査シタル事項九ノ如クニ有之候

一日露兩國軍隊ノ通過ニ基キ韓國農業
者ガ其貯蓄穀類家畜及ニ現在農作物
ノ上ニ受ケタル損害ノ状況

今面巡視シタル各郡ノ中安州及慈山順川殷
山郡等ニ我軍ノ通過ニ基キ其貯蓄シタル穀
類ハ何レモ悉ク我商人ノ手ニ依リテ買収セラレタルヲ
以テ今ヤ殆ド貯蓄ノ穀類ナシ家畜ニ到リテハ
雞豚又悉ク其用ニ供シテ目今到ル処雞鳴
ヲ聞クニトナシ然レモ今ヤ一服ニ幼豚雞雜ヲ

購入して漸次其繁殖方法ヲ講シ居ルカ如シ
軍隊通過ニ因テハ如上ノ如ク一般ノ人民ニ對シテ
其影響ヲ及シタルト尠クナルモ軍隊通
過ニ長日月ニ非ス且何等ノ被害無之カリシ
ヲ以テ今ヤ現在ノ農作上何等ノ損害ヲ認メズ
然レ今田安州城ニ襲来セシ魯兵ノ通過シタル
地方乃チ安州竹川徳川郡地方ニ到リテハ彼
等ガ慘虐暴戾ナル行為ヲ其一般農民
ニ及シタルノ損害ノ實ニ尠ク非ス乃チ其状況ハ
各郡尤ノ如ク有之也

安州地方ニ我軍隊ノ通過占領シタル後一般農
民能ク其堵ニ安シ一旦日露ノ砲火ヲ予期シテ
離散シタル農民悉ク歸來シ其状態漸ク旧
態ニ復カレトシタルニ去ル五月四日漢末魯兵襲
来ノ風説ニ城内外農民再ニ漸ク離散シ十日
間戦ニ到リテハ城内外及ビ竹川ニ到ル沿道ノ人民
悉ク家ヲ空シテ避難シ其後敵兵撃退後
ト雖去ル五月末ニ到ル迄歸來セルモノハ城外ハ約三
分ニ城内ノ如クハ民家半ハ未ダ空屋ニシテ城ノ
周圍約半里以内ハ全ク農作ニ従事セス空シテ

播種ノ期節ヲ失ハントスルヲ以テ目今同所ニ駐留ス
 ル兵站司令官モ類リニ地方官ニ勸誘シテ百方
 農民ノ帰来ヲ獎勵スルニ目今再ビ魯兵龍取来
 ノ風説熄マヌ且城内外ノ我警言戒モ尚嚴重ナルヲ
 見テ目今帰来農事ニ従事スルモノ甚稀ナルハ之
 ガ爲メ本年此地方ニ於ケル秋收ハ殆ンド皆無トナルモ
 ノ虞有之候价川及徳川郡内ノ安州龍取来魯
 兵ノ往復ニ際シ糧食馬糧ノ奪掠ニ遭過シ沿道
 ノ民家大抵以難ニ罹ラサレノナリ平素貯蓄ニ
 乏キ韓民ノ生計上殆ント貯藏ノ穀食家蓄
 ト奉テ彼等ノ手ニ奪取カレタルモノ如シ就中徳川
 如キハ往返必ズ出来得ル丈ケ馬糧々食ノ微塵
 ヲ為シタルヲ以テ農家中一粒ノ穀食ヲ剩サレ家
 アレニ至レリ安州ヲ徳川ニ到ル十五里間雜豚ノ
 飼養ヲ目撃シタルハ僅カニ数戸ニ過キス然レ魯
 兵ノ通過ニ一回ノ往返ニ過キズ且其後數日ヲ
 出ズレテ我追撃軍ノ往返ニケルヲ農民ハ一服ニ
 安堵シ播種ノ重要期節ナル五月中旬ニ至
 リ帰来シ耕耘ニ従事シ居ルヲ以テ若シ夫レ刻
 下再ビ露兵ノ襲来等無之ヲニバ現在ノ農

作上何等ノ損害無之カレ可シ
一農業者中春季ノ播種ニ必要ナル穀類及農具ノ
準備ヲ有スルヤ

可頂所載ノ如クナル以テ徳川邑内ノ如キハ貯藏
ノ穀類ハ殆ト其底ヲ空シテ之ヲ失ヒタルモノ甚多キ
ニ郡守ノ勸誘郷黨ノ共助相待テ本年播種
ノ穀類等ニ乏乏ニシテ無シ候テ農具等ニ就テハ
寸毫モ損害支障ナシ

一我軍用手票及日韓貨ノ流通状況

巡視タル地域中軍票ノ流通シ居ルハ肅川及仁安
州ニテ所ニ過ラス然テ其流通区域ハ軍ニ兵站部
ト之ニ関係スル日韓人間ニシテ最初強制シ以テ漸ク
之ヲ流通セシムルノ状況ナリ且安州ニ交換部
ノ設置以來何レモ之ヲ信用シテ疑念ナリ授受セ
ラレニ到レリ然モ一般ニ尙之ヲ忌避スルノ風アリテ
韓人相互ノ授受ニ尙規定外ニ打歩ヲ附シテ漸
ク流通スル模様ナリ
帝國紙幣及銀行手形一般ニ之ヲ信用シ授
受上尙モ支障ナキモ之レ亦兵站所在地甚クハ
邦人ト商取引ノ関係アルモノハ外流通ヲ見ス

韓貨巡回地方到ル處白銅及ヒ銅貨流通シ
葉 錢ハ今ヤ只稀ニ之ヲ見タルノミ

一韓國地方官ガ我軍事行動ニ對シテ其ニ便宜ノ
多少并ニ同官憲ノ韓國民ニ對スル治績ノ概況
目今軍隊ニ關係スル地方ハ順安肅川安州各
兵站所在地花ニ竹川殷山ノ守備兵駐留地等ニ
有之候

順安郡守趙昌植ハ性質敏活ナリ升ルニ我軍隊ヨ
リノ要求若クハ軍需品等ニ付テハ一々快ク之ニ應ジ
テ知弁スルモ殊ニ進テ軍隊ノ為ニ便宜ヲ其ツルガ

如キ行動ヲ為サス肅川郡守ハ性質温厚ニ失
スルカ如ク且ツ才幹ナク軍隊ニ對シテ成ルベク救ヒテ
之ヲ遠クルガ如ク其要求セシム事頂モ可成之ヲ避
ケントシ其事務ハ大抵之ヲ郷長若クハ書記ニ委
スル風アリ兵站部員ハ近頃非常ニ之ヲ難シ居
リ安州ニ到リテハ目今郡守ナリ慈山ノ郡守之ガ
署理タルモ其来ルニト甚稀郷長亦郡内ニ人望
ナク且ツ極テ無能ノ人物ニシテ可成其事故ニ當ル
ヲ避ケ病ト稱シテ城外一里ノ自宅ニ在リ會々兵
站部ニ来ルヲアルモ無能ニシテ毫モ軍隊ノ便宜ヲ

計ルカ如キトナリ安州、現今殆ニ無政府ノ状態
 ニ在リテ軍隊、韓國官憲ノ為メ行動上、毫モ彼
 等ノ手ヲ藉ラスト、當時兵站司令官ノ口ニモ、
 ニ有之小官巡視、途次會々其郷長ヲ叩キ、
 モ諸般ノ事頂凡テ要領ヲ得サリシ
 价川郡、目今郡守無之モ郷長ニ相當ノ才幹
 徳望アルモノアリ能ク来リテ軍隊ノ為メニ其用ヲ
 兼シ便宜ヲ興ヘテ好評アリ首席書記又忠實
 ニ能ク軍隊ノ為メ奔走シ目今同地駐留ノ軍
 隊ニ寸毫モ地方官ニ對シ惡評ナシ
 殷山郡守、努メテ能ク軍隊ヲ遇シ隊長ノ言ハ
 悉ク能ク之ヲ服膺勵行シ軍隊ヲシテ今ヤ寸
 毫モ不便ヲ感セシマス軍人間ニ好評ヲ博シ居
 レリ
 尚若郡守が韓國民ニ對スル治績ノ概況ニ就テハ
 早卒ノ巡視邊カニ之ヲ判断スル能ハスト余モ其
 間見タリ知ニ徴スルバ
 順川郡守ハ赴任以來未タ六ヶ月何等ノ治績ヲ
 認ムル能ハサルモ性質實温順ニシテ自ラ持スル實
 素、毫モ華奢ノ風ナリ徒テ收歛ノ弊ナリ民

訴ヲ断スル又極テ公平ニテ好評アリ今回ノ白露
事件ニ就テ教回人民ニ告諭シテ勸農及安堵ノ
勸誘ヲ爲シタル形跡アリ

安州郡守署理ニ殆ト有名無実容易ニ来テ政
務ヲ見ス大抵ノ事御長之ヲ并スルモ彼レハ事ヲ断
スノ才幹及民望ナリ同僚門ハ今ヤ徴税取扱以
外何等ノ事務ヲ視ルコトナリ其行政司法ノ如キハ
殆ト曠廢ノ状態アリ今回白露ノ事件ニ関シ人
民ニ其安堵及農業ノ勸誘ノ如キハ單ニ形式一
回ノ告示文ヲ発シタルニ止マリト

价川郡署モ署理ハ名アルノミニテ御長專ラ其事
務ヲ執リ民望アルヲ以テ別ニ民間ニ是非ノ評斷
カス今回ノ事件ニ付テモ教回民人慰安ノ告諭等
ハナシタルガ如シ

徳川郡守李憲榮ハ才幹ナキモ徳望家ナリ民
間ニ好評アリ然モ事ヲ断スルニモ已レノ意志ニ出
ズ多クハ御長ノ意ヲ迎ヘテ專行ノ事ナシ事務
執行上毫モ毀誉ヲ耳ニセス

順川郡守李承周ハ各村到ルル良地方官ノ評アリ
今回ノ事件ニ付テモ部民ノ怨懣農業ノ曠廢

ヲ憂テ軍隊ニテ裁度カ郡内ヲ視察シテ慰諭ス
ル所アリ民間毫モ怨嗟ノ聲ナシ

段山郡守ハ性質怪惻民間ニ少ク貧悪ノ評
アルモ其事察ラ耳ニモ今回ノ事件ニ伴ヒ一屬農
業等ノ勸誘ニ付テハ裁度カ告示シ且ツ自ラモ
近頃郡内ヲ一周セシ事アリト

慈山郡守ハ性質傲慢郡民ニ親切ナズ多少
ノ學識ヲ頼ニテ長上ヲ凌グノ風アリト之ヲ批難
スルモノアリ訴ヲ断スルヤ粗放石碓落ニ失シ在再事
ヲ決セサルノ風アリテ民間ニ人望ナシ然モ貧悪ノ

事ハ之ヲ耳ニセス

一我軍隊ニ附隨營業セル本邦商人ノ状況

安洲ニ於テハ小資本ノ雜貨店並ニ飲食店三戸雜
役ニ賃稼キヲナス邦人十四名有之外他ハ本邦人
ナク其高業者ノ如キモ軍ニ軍隊ヲ目的トシ僅カニ
商業ヲ為スニ止マリ極メテ微々記載スルキ價値ナク
尺其品行等ニ對テハ軍隊ノ監督ノ下ニ在リテ要

評ナシ

一殷山鑛山ニ於ケル外人營業ノ状況

殷山ノ金鑛會社去ル二十三年十二月創業以來昨

三十七年十一月迄、建築物及機械ノ装置並ニ
 鑛石ノ採掘ニシテ從事シ居タルノミナリシガ如ク十二
 月初メテ製煉ヲ試ミタルニ其合金成分亦亦
 多ク目今全ク収メ置キタルモノ、如シ金鑛
 ノ所在地、殷山郡ニ在リテ郡内龍化坊ヲ中心トシ
 四里四方其借込内ナリ工場及ヒ坑口等ハ龍化
 坊ノ中呂梁及ヒ楊鎮ノ二ヶ所ニ分タレ呂梁ハ高
 キ山腹ニ在リテ縦横ニヶ所ノ坑口並ニ會社重要
 ナ建物十棟及ヒ機關場等ノ設ケアリ會社ノ事
 務室倉庫皆此処ニ設ケラル楊鎮ハ之ヲ下ル
 十五町平坦ナル地点ニシテ大ナル製煉場及三棟
 ノ工場及ヒ社宅ノ設ケアル所ナリ
 呂梁ノ鑛坑ニヶ所ノ中縦坑ハ且取モ有シタル坑ニシテ
 其深サ已ニ七百尺ニ達シ之ニ次ク横坑ニヶ所何レモ
 已ニ四百尺余ヲ堀鑿シ此鑛石ハ汽力ニ依リテ何レモ
 坑外ニ運ハシ架空ノ鉄索線ニ依リテ山下ノ楊鎮
 製煉工場ニ達スルノ装置トナリ居シリ
 楊鎮ニ大ナル製煉場及分拆場鍛冶工場設備
 アリテ汽力ニ依リテ白ヲノ作業ヲ為シ居シリ
 原動力タル蒸汽機關ハ馬力八十ノモノニ台ニテ

呂梁楊鎮ニ各一台ヲ使用シ地上架要ナル地ニハ
 敷ケ所ニ輕便鉄軌ノ設アリ
 工場諸般ノ擔任者ニ悉ク英人ヲ以テ之ニ充テ
 雜役ニ坑吏等ニ悉ク日清韓人ヲ使用シ居リ
 今之ヲ類別スレハ

一英人 十五人

内
 文配人 一人
 會計 一人
 橋脚及坑内担任 十三人
 鑿師 一人

一日本人 十三人

内
 会社内警衛 四人
 大工 五人
 鍛冶工 四人

一清国人 五十人

一韓人 五十人

之ニ日英便役スルモノミシテ何レモ機械部及坑内ノ雜
 役ニ從事スルモノナリ

以上ノ中英國人ノ俸給ハ百八十円以上二百五十円
 内外本邦人ハ五十円以上七十円以下ニシテ清韓人ノ



勞力者二百、賃錢四十錢内外ナリ此中月令坑
 内ノ採鑛ニ従事スル工夫約六十人ニテ他ハ皆坑外
 ノ雜役ニ供セシ坑内ノ採鑛者ハ日雇賃ヲ以テ雇
 ハルモノト受員方法ヲ以テ之ニ従事スルノ別アルモ其
 日々採鑛ノ量等ハ之ヲ詳ニスル克ハズ
 會社内ニテハ本邦人ハ目今何レモ相當ノ信用アリテ否
 難ノ聲ヲ耳ニセサルモ清人ハ勞働上韓人ニ比シテ常
 ニ社會ノ信用厚キアリ自然韓人トノ間ニ不和ノ擾攘
 アリテ時々喧嘩爭論等ノ累ヲ絶ゾ克ハサル由
 會社ニ要スル貨物ノ運送ハ近來大同江岸ヲ揚
 鎮マテ四里ノ間道路ヲ改修シテ幅弱三間トナシ
 テ平壤ヲ水路多地向ケル貨物ハ尙此道路ニ連
 絡シ目下交通上毫モ不便ノコトナシ
 金ノ產出高ハ本年一月以降四月迄毎月五万円
 以上八万円内外ニシテ七月ノ經費ハ約一万二千
 円ニ過キサルヲ以テ將來極メテ有望ナリトハ見込ナリ
 トハ當時支配人タムウイルフリッドホルレイヨリ
 聞知スル所ニ有テ其言ノ当否ハ奉テ之ヲ輕々ニ推
 断スル克ハサルモ兎ニ角製煉開始以來會社ガ
 一層機械ノ整頓ヲ計リ道路ノ大改修ヲ加ラン



兵ヲ推測セハ其將來ニ有望ナルコトハ疑ナキモノ
 如シ
 會社内外ノ衛生状態ニ就テハ一名ノ醫師アリテ
 常ニ之ヲ監視シ傳染病ノ豫防消毒等ニ付テハ
 最モ留意せんモノ、如ク簡便ナル消毒器械並ニ
 消毒器等モ悉ク完備セシメ認メタルモノ、七十餘
 丈ノ鑛坑内ニ未ダ通風機ヲ設ケテキル官
 事モ亦奇異ノ感ヲ起サシムル到リテ労働者
 間ノ秩序ハ邦人四名ノ取締ニ依リ誠ニ能ク勵行
 セシ労働社會ニ免ル、モリモリ賭博章開ノ如キ
 事モ常ニ能ク警防シ就中邦人ニテ會社ニ雇ハ
 ル者ニ到リテハ悉ク皆相當ノ貯蓄ヲ有シ目今
 一名モ悪評等ヲ耳ニスル者ナシ
 高目下邦人ニシテ此地ニ在ルモノハ悉ク會社ノ雇
 人ニシテ一人モ獨立シテ商業等ヲニ従事スル
 モナシ
 一農況
 巡回シタル地方ハ昨年播種ノ季節より雨ナリ秋
 收前ニ到リ霖雨引キ續キタル爲メ一般ニ充分
 ナル收穫ヲ得ス殊ニ竹川徳川順川等ニ到リテハ

其秋收殆ニト平年ノ三四分ニ過キサリシ模様ニ
テ目今順川地内ノ北部徳川价川ノ東北部ニ松
樹ノ皮ヲ剥キテ之ヲ粟稗等ニ交セ辛シテ飢餓
ヲ免レ居ルノ寒民數ヶ所ニテ目撃ニタリ
且ツ小官巡視ノ途上平壤ノ北部寧遠徳川地
方ニ駐送スル貨物ニ注目スルニ其十中ノ九ニ悉
ク穀物ナルヲ以テ時々之ヲ農民古老等ニ叩クニ何
レモ皆昨年凶作ノ餘御音ナルヲ口ニセサルモノナク要
スルニ平安北道ニ於ケン昨年ノ凶作ハ到ル處迄
際凶作タルヲ免レサリシモノノ如シ

本年ノ農作ニ付テハ未タ其豊凶ヲトスル能ハサル也
巡視連上見見タリク依レハ目下作付ケアル作物
ハ大麦及小麦ノ二種ニ過キス然モ其反別ニ極メテ少
ク其發育モ凡テ充分ナラザル如キノ觀アルヨリ之ヲ歲
多ノ農民ニ亂スニ昨年六七月ノ候ヨリ牛疫非常ニ流行
シ各部落大抵飼牛十分ノ七八ヲ失ヒ殆ト耕耘ノ力
ナキニ到タルヲ會々播種ノ期管ナル小麦ハ其作付
殆ト平年ノ二分位ニ過キサリシノミナズ小麦及大麦
共播種ノ際雨量多キニ失ヒ其發育充分ナラザル
ヲ以テ本年ノ收穫ハ之ヲ平年ニ比シ約二三分ニ過キ

カルベント

右ノ外本年雜穀ノ播種ニ付テハ早天打續キタル為ニ
農民一般ニ憂慮シ居リタルモ客月末數回ノ降
雨ニ乘シ悉ク其播種ヲ了リタリ素ヨリ農牛不足ナル
ガ為メ耕耘上多大ノ不便ニ蒙リタルモ一般ノ農
民何レモ昨年ノ凶作ヲ補ハントスル決心ヲ農牛ノ足ラ
サル所ハ努メテ人カヲ以テ之ヲ補ヒ前項所載ノ如キ事
情アル安州ヲ除テハ其作付ノ反別ハ之ヲ半年ニ比シ
一割減リ位ニ過キサル模様ナリ

一安州ニ襲来シタル魯兵經過ノ模様

今回小官カ巡視シタル地方中露兵ノ通過セシ徳
川ヨリ安州地方ニ到ルノ沿道地方ナカ右各地ニ付
調査シタル所ニ依レハ

徳川地方ニハ五月一日頃ヲ露兵南下シ来ルベシトノ
風説官民間ニ流布シ何レモ半信半疑ノ間ニ有之ルニ
五月五日ニ同地ヲ距ル六里寧遠郡ニ来到シ七日ニハ
徳川郡内全城坊雲灘 里ニ着シ泊シ翌八日
ハ徳川ニテ晝間ニ時間餘休憩ノ上徳川ヨリ約五
里ヲ南進シテ同郡内平地院ニ泊シ九日拂曉出發
正午价川郡ニ達シ休憩、上午後四時出發安州

ニ到リ同夜城外約一里ノ山中ニ在リ翌十日安州城
ヲ襲撃シ同夜ハ又前夜ノ位置ニ停止シ翌十日拂
曉歸路ニ向ヒ同日午後四時頃价川ニ着キテ同所ヲ
約二丁ヲ距ル五里洞ニ泊翌十二日、徳川地内平
地院ニ泊翌十三日徳川郡ニ入り翌十四日寧遠
郡ニ着シ十五日ニ同処ニ滞在十六日同郡古倉ニ
宿泊翌十七日一部ハ劔山嶺ヲ越シテ咸興ニ向ヒ郡
ハ温倉立石ニ泊リ十八日同郡社倉十九日浩倉青石
浦ニ泊リ二十日韓恭嶺ヲ越テ長津郡韓上里ニ
一泊シ又シヨ何レノ方面ニ向ヒタルヤヲ知ラス

其兵數ハ六百ヨリ七百ノ間ニシテ悉ク東馬兵ナリ其
外ニ清人九名韓人四名アリ清人ノ中八名ハ乘馬武
装シ韓人中ニ名ハ韓國ハ兵卒ニシテ露人ハ江界ヲ
捕虜トシ来リリルモノナリト聲言セリ他ノ二名ハ韓
装シタル通徒ナリ彼等ハ右ノ外韜室ヲ有セス馬糧
及糧食悉ク民家ヲ掠奪シ何ノ地ニ論ナリ其ノ看
スルヤ直ニ手ヲ別テ毎戸ノ厨房ニ到リ穀類鍋釜
悉ク奪テ一ヶ所ニ集メ炊事スルハ器具ハ放擲シテ
寸毫モ其價ハ奪之ヲ弁セザリシニモ来路ハ毫モ他ノ
邨行ヲ為サザリシ然レモ韓人ニシテ若シ尠クモ徵采

フ拒ムモヤレバ乱打制縛立口ニ到ルヲ以テ其来ハ同
 ヲヤ韓人ハ悉ク身ヲ以テ避難シタリ
 帰路ハ彼等ハ暴戻慘虐到ラザルナリ殆ド人類
 以テ目ス可ラザルノ蠻行ハ行ク行ク其途上ニ行ハレタリ
 彼ハ安州戦ニ敗レモ全夜ハ城外約一里ノ地ニ止マ
 リテ戦死者ノ死屍ヲ收容シテ埋葬シ雞鳴頃喪
 程行クハ沿道村落ノ民家ニ突入シテ男子ナレバ
 老幼ニ論ナク直ニ制縛シテ之ヲ引去リテ負傷者ヲ
 負荷セシメ徳川ニ到ル頃ハ斯クシテ強テ使役ニ供セ
 ラルノ數韓人ノ數百八十餘名ニ上ホリタリト云フ
 負傷者ハ發程當時ハ十七ナリシモ途中价川ニテニ
 名徳川ニテ一名死亡シ埋葬シ十四名ハ長津郡方面
 迄確ニ輸送ヤト云ヘリ安州ヲ距ル約一里水口門
 村ニ到ル時兵士ハ附近ノ民家ニ突入シ穀物ヲ奪ヒ筆
 箭等ヲ打破リ新裁セン衣服アレハ悉ク取り去リテ
 患者縮帛ノ用ニ供シ布團ハ擔ヒ来リテ擔架ノ
 用ニ使シテ途上安州地内合灘里ニ於テハ出會シ
 タル韓人一名ヲ捕ヘ病者ノ為メ汲水ヲ命シタルニ彼
 障ヲ見テ逃走シ行露兵怒テ立口ニ軍刀ニテ
 其頭部及腹部ヲ切りテ之ヲ殺シ(其死者ハ未ダ葬

○
七ノ月
撫部大守
ノト見

ラス小官目撃せり尚竹川地内ニ入りテ松亭ト稱ス
ル六戸ノ民家アル所ニ到リ其一戸ニ突入會ニ避難
ニ遷シタル婦女三十歳ヲ強姦シ尚其家ノ老爺ノ之
ヲ肯セサリシ直ニ之ヲ打殺シテ其家ニ放火シ尚附
近ノ五戸ニ一々火ヲ放ケ一洞悉ク島有ニ帰セシメタ
リ又レテ竹川ニ入りテ路傍ニ一韓人ヲ斬殺シ尚
彼馬ヲ驅リテ附近ノ山野ヲ跋涉シ白昼婦女ヲ強
姦セシモノ二十年名其中一名ノ如キハ松林ノ四所ニ避
難シ居リタルヲ捕ヘタルニ豪客見易ニ関カテ劔ヲ以テ之
ヲ破リ劔夫ハ其婦女ノ腮ニ貫傷セシメタルガ如キモ
ノアリ又竹川邑内ニ避難シ能ハサル八十余歳ノ老
婆潜匿シ居リタルニ暴戾鬼ノ如キニ暴兵ハ突然
乘リテ暴之ヲ辱メタリ竹川等ノ主人ノ言ニ曰ク魯兵
ハ婦女タルヲ知りテ老幼ヲ知ラスト雷トカチキヤ
途上彼ハ尚要処ノ橋梁ハ之ヲ燒燬シ徳川ニ到ル頃
彼ハ暴状ニ甚ク其時人民ハ既ニ早ク避難
シ居リタルニ悉ク其家ニ私入シテ糧食貨物ヲ
奪掠シ加フルニ尚無用ナル家財道具等ヲ故ラニ
破毀シテ其利教ヲ所附近ニ於テ生牛十餘頭
ヲ奪ヒ去リ馬ヲ驅リテ到ル処ニ婦女ヲ見ルハ父ス之



フ辱シム其他浦上新里ニテハ韓人白興老十人者
 公奥妻女二十歳ト共ニ山陰ニ避難セルヲ発見シ
 斬殺シテ而テ後其婦ヲ辱シメ高金城坊ニテハ
 十五歳ノ女児ハ數名ノ曹兵ノ爲メニ辱シメラシム
 後終ニ其翌日死スルニ到リシハ南寧遠ニ到リテ
 ハ其暴状甚ク其故ナリ路傍ニ放火スルコト十四
 戸婦女ヲ姦スルコト擧テ數フ可ラス同所ノ某部
 ニ落ニ於テハ十歳ノ女児ヲ辱メ終ニ之ヲ死ニ致シタル由
 ルガ惜ムラクハ其姓名ヲ知ル能ハサリシ
 傳ルル処ニ依リテ南寧遠ニ於テ其驛隊長ハ死シ露
 兵ハ埋棺式ヲ行ヒ其乗馬ハ銃殺セリトノ風説アリ
 此小官ガ調査シタル処ニ依リテハ之ヲ信スル克ハス
 又其露兵ノ一行中日本販ヲ纏ヒタル日本人三名アリ
 別ニ縛繩ハ附セサリシモ露兵往復共日夜ニ嚴重
 ニ之ヲ監視シテ伴ヒ去ルヲ認メタリト斯ハ曹兵ノ
 爲メニ強制便役セラシム韓人四名ヲ取調ヘタルモノ
 中二名カ同様ニ申立シタル所ニ内地行商者
 等ノ何レニテカ捕虜トナリタルモノナランカ
 彼ガ歸路負傷者ハ一名毎ニ必ス韓人十名位ヲ以テ
 負荷セシメタルガ价川徳川等ヲ捕ハシ行キシ韓人

ハ大抵逃ラ帰リタル様也未カ帰来セサル者右
地ニ三人ハ有之様ナリ

是等ノ韓人ハ昼間ニ制縛雜殺ニ使役夜間ハ露
兵銃ヲ以テニ監視シ容易ニ帰来スル克ハス途
中坎等ノ者ニ與フル糧食ハ馬糧ヲ焚テ後其
剩余ヲニ共ニ賃銭ハ或ハ給ニ或ハ給セサル時アリ
其之ヲ給セシモハ一日白銅六十銭ノ割合ヲ
以テ之ヲ支払ヒタリトナリ

以上ノ顛末ハ小官ノ見聞及价川元ニ徳川ヨリ露
兵ノ爲メ捕ヘラレ人吏トナリテ長津郡迄連行セ
ラレ幸シテ逃レ歸リタル四名ノ韓人ニ付テ調査シ
彼等此参^場ニ在リタル状況ニ有之候

右復余ス

平壤分館附

明治七年三月三日

警部部場場立古



平壤分館主任

副領事 新庄 順貞 殿